

vol. 2270

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】(株)佐伯コミュニケーションズ 【売価】30円(組合員の購読料は組合費の中に含んで徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 国東高校双国校閉校
- ご冥福をお祈りします (伊藤寿さん、渡邊郁靖さん)
- 退職者集会 3月5 (土) ソレイユ
- 2021年度未退職者

ありがとう。そして、さようなら 国東高校双国校閉校

長年地域の学校としての役割を果たしてきた、国東高校双国校がこの3月をもって閉校し、高教組双国分会もその長い歴史に幕を下ろすこととなりました。

この度、分会から、閉校にあたっての思いを寄稿していただきましたので、ここに掲載いたします。



「素晴らしい生徒たち」 ～国東高校双国校の閉校にあたって～

国東高校双国校は、昭和23年に国東高校伊美分校、高田高校香々地分校の開設を嚆矢とし、昭和38年に合併して双国高等学校となり、平成20年一旦閉校しました。しかし、同年双国高校の敷地校舎を引き継ぎ、国東高等学校の分校双国校として再スタートして今日に至りました。幾多の変遷を経、規模は縮小しましたが、それでも「双国」の名は残り、この間多くの人材を輩出してきました。しかし、とうとうここに、伊美分校、香々地分校以来の74年の歴史に幕を下ろすことになりました。

私は、2年前、双国校に転勤になりましたが、実は14年前に国東高校の分校となる前の、双国高校時代にも7年間勤務していました。いわゆる「出戻り」です。14年前、双国高校を去る際に、もう一度この学校に戻りたいという思いを持っていましたが、双国校募集停止の情報が来たときは、驚きを禁じえませんでした。そして、もう双国に行くことはなくなったと思っていたところの双国勤務。まさかあと2年で閉校する学校に転勤することになるとは思いもよらず、2度びっくり。

再び赴任してみると、校舎・教室はそのときのまま、そして、生徒の純朴さも変わっていませんでした。ただ生徒数については、新生生はおらず、2年生と3年生の、全校生徒27名の学校で、さらに今年は、3年生のみのわずか13名。わずか13名ではいろいろな面で支障があり、人数的な制約で十分な学習活動や特別活動はできないだろうと思っていました。

しかし、この一年間、13名の生徒は多くの活動実績を残しています。地域活性化を考える「地域ソーセイプロジェクト」という企画に学校を挙げてとりくみ、地元の市役所や商工会などと共同で、商品開発や観光イベントなどを研究しました。地元のフィールドワークをしたり、いろいろな観光地に視察にいたり、そしてその都度、事前に班ごとに下調べをし、事後、各班iPadを使ってプレゼンテーションをして批評し合う、それを何回も繰り返しながら、最終的には、観光客誘致のためのサイクリングロードをまとめ上げ、地元国東で開催された「おおいた教育の日」推進大会で実践報告をし、すばらしい成果を残しました。



私は生徒会係でしたが、生徒たちは、生徒会活動にも頑張ってくれました。月1度の登校あいさつ運動や年2回のボランティア清掃など、これまでやってきた生徒会行事を引き継いで、ほぼ例年通りの活動をしました。特に目を見張ったのは文化祭です。教員の中には、この人数では講演会や音楽鑑賞会をする程度しかできないのではないかという意見もありました。しかし、生徒たちは、これまで通りの生徒たちの手づくりの文化祭を実施しました。13名を1グループ2～3名に分け、ステージ発表の企画数を減らさないようにして、クイズの企画や動画作成などを行い、

たった13名で昨年通りの文化祭をやり遂げました。

この文化祭での生徒のとりくむ様子を見て思ったことは、少人数のほうが、かえって良い点もあるということです。大勢での活動は、積極的にとりくむ人がいる反面、そうではない人もいたりします。また、人まかせの人がいたり、人前でのパフォーマンスが苦手な人は表に出なかったりします。ところが、2～3名の規模では、そんな人が1名でもいると、企画が成り立ちません。グループの2～3名が随時話し合い、準備を進めて、誰も手を抜かず、そして本番の発表のときも全員ステージに立ってパフォーマンスを行いました。今年度の文化祭は、一人ひとりが活躍した本当の意味での「全員参加」の文化祭と言えると思います。

このことは、前に述べた「地域ソーセイプロジェクト」でも同じで、班分けをした小グループでの活動は、メンバー全員に役割があり、何回も行われた報告会のプレゼンテーションでも分担あるいは交替してみんなが発表していました。

このような活動を通して、生徒はプレゼンテーションのスキルが身に付き、どの授業でもiPadを使っての発表を頻繁に実施してきましたが、いやがったり、億劫に思ったりする生徒はいず、手際よく準備をし、人前での発表も堂々で行うことができるようになっていきます。

たった13名。一般的には「こんな人数で何ができるのか」と思うような数です。しかし、本校最後の3年生がこの一年間に見せてくれた姿は、少数だから逆にいろいろなことができるということを示してくれ、また、少人数での教育活動が、一人ひとりの能力を伸ばすことができるということを実感させられました。

3月5日(土)に、卒業式と閉校式が行われました。卒業式が終わり、「卒業生退場」。体育館出口で、拍手をしながら13名一人ひとりの顔をじっくり見ながら見送りましたが、一人ひとりが最高に輝いているように見えました。

一度目の勤務、二度目の勤務、通算すると9年間、双国での勤務はこれまでの勤務校の中では最も長い勤務となりましたが、この思い出深い学校の閉校を見届けたことは感慨^{ひとしお}一入のがあります。そして何よりも、大変すばらしい生徒たちと出会えたことはかけがえのない思い出です。

(双国校分会 清祐義人)

ご冥福をお祈りします

2022年1月に私たちの仲間の2名がお亡くなりになりました。2名の方への追悼文が寄せられましたので、ここに掲載し、ご冥福をお祈りいたします。

伊東寿さんの思い出

(久住高原農業分会)

3学期の始業式の日、朝礼で校長が突然「皆さんに悲しいお知らせがあります…」と話し始めた。「昨日事務の伊東さんが事故で亡くなりました…」と目に涙を浮かべ

ながら続く言葉に、一瞬頭の中が真っ白になりました。前の週に定年後は好きなことをしながら悠々自適の生活をするという伊東さんと「いよいよ最後の3ヶ月だね」と話をしたばかりの私には、本当のこととは思えない出来事でした。年も近く話しやすいため、事務室に行っては学校のこと、組合のこと、家族のことなど色々なことを話せる仲の良い同僚でした。先日も事務室で伊東さんの話をしていると、「何でも相談できる『おいちゃん』みたいな人だったね。」と盛り上がり、みんなに慕われた優しい人柄が思い出されました。久住高原農業は分校から単独校となり、併設されたアグリ創生塾の事務もあるため、いつも忙しく仕事をしていましたが、高教組の活動も一緒にとりくんできました。あまりにも突然の事故でお別れすることとなり残念でありませんが、あなたのことはいつまでも忘れません。心よりご冥福をお祈りいたします。

渡邊郁靖先生を偲んで

(中津北高校分会)

中津北高校書道部を名実ともに全国一に導いてきた渡邊先生は、大変情に厚い先生でした。本校では学年主任や生徒指導主任として、生徒に深い愛情を持って接し、大変慕われ

ていました。

難病のALSを患ってからも、教師として生徒に生きる上で大事なことを伝えるべく力の限り付き合っていく姿を見せてくれました。後に残された我々教職員も、その生き様に身の引き締まる思いであります。

本来であればこの春退職でしたが、退職を待たずに突然亡くなってしまい、大変残念です。まだまだ生徒だけでなく我々教職員にもいろいろなことを伝えていただきかけた。しかし、先生の生徒への熱い思いを受け継ぐことが私たちの役割だと思いますので、先生のご遺志を引き継ぎ生徒と真剣に向き合っていきたいと思います。

渡邊先生、これからも中津北高校を見守ってくださ いね。ご冥福を心よりお祈りいたします。

高教組 2021年度 退職者集会

と き：3月5日(土) ところ：ソレイユ

3月5日(土)に、2021年度末に退職する組合員を対象に、退職者集会を開催しました。26人の組合員が参加しました。

はじめに、本来ならばこの集会に参加していただく予定で、1月に逝去された、渡邊郁靖さん(中津北分会)と伊東寿さん(久住高原農業分会)に、全員で黙祷を捧げました。

集会では、梶原悟高退教会長をはじめ、来賓の方に挨拶をいただきました。また、一人ひとりに感謝状と記念品が贈

呈されました。互助会や教職員共済、ろうきんから、今後の手続き等についての説明もありました。

また、退職者を代表して、堤麻里子さん（大分雄城台分会）より、あいさつをいただきました。高教組に加入するきっかけや、これまでとりくんできた活動について語っていただき、改めて高教組運動や仲間の大切さを実感できました。

最後に、記念写真を撮影しました。

新型コロナウイルスの影響で、交流会は実施できませんでしたが、多くの組合員に参加していただきました。

これまでの高教組運動へのご協力を深く感謝いたします。これからのご健勝とご多幸をお祈りいたします。

今後も、お元気で過ごしてください。

2021年度末 高教組退職者



この3月をもって57名の組合員の方々が退職を迎えられました。

これまでの高教組運動へのご協力を深く感謝いたしますとともに、これからのご健勝とご多幸をお祈りいたします。

長い間お疲れ様でした。これからも、お元気で活躍ください。

| 分会名 | 職種・教科 | 名前 | 分会名 | 職種・教科 | 名前 |
|--------|-----------|-------|-------------|-----------|-------|
| 中津南 | 教諭・数学 | 若山奈都美 | 由布 | 教諭・英語 | 加来 達彦 |
| 中津北 | 教諭・国語 | 樋口 学 | 由布 | 教諭・商業 | 宮邊 勇一 |
| 中津東 | 教諭・理科（化学） | 瀧 和彦 | 新生支援 | 教諭・理科（化学） | 熊本 浩介 |
| 中津東 | 教諭・商業 | 長岡波留美 | 新生支援 | 教諭・理科（生物） | 亀井 和浩 |
| 宇佐 | 教諭・英語 | 渡部かおり | 鶴崎工業 | 教諭・数学 | 森崎 健 |
| 宇佐産業科学 | 教諭・家庭 | 江崎三津美 | 鶴崎工業 | 教諭・芸術（書道） | 栗林 裕之 |
| 杵築 | 教諭・数学 | 平山 道明 | 鶴崎工業 | 教諭・工業（機械） | 和田 弘 |
| 日出総合 | 教諭・理科（生物） | 吉良 和秀 | 鶴崎工業 | 教諭・工業（電気） | 渡邊 孝輝 |
| 日出総合 | 教諭・工業（機械） | 脇屋 和夫 | 情報科学 | 教諭・数学 | 大川 博 |
| 別府翔青 | 教諭・国語 | 坂口 智子 | 情報科学 | 教諭・商業 | 柴原 伸一 |
| 別府支援 | 事務 | 畑野美智子 | 情報科学 | 教諭・商業 | 杉田 義一 |
| 大分上野丘 | 教諭・国語 | 山本 潤 | 大分東 | 事務 | 阿部智恵美 |
| 大分舞鶴 | 教諭・数学 | 宮崎 浩幸 | 大分支援 | 教諭・地歴（日史） | 古長 祐治 |
| 大分雄城台 | 教諭・国語 | 堤 麻理子 | 日田 | 教諭・地歴（日史） | 小野 栄昭 |
| 大分雄城台 | 教諭・国語 | 齋藤 亨 | 日田定 | 現業・調理員 | 中野 純子 |
| 大分雄城台 | 教諭・英語 | 高山 正雄 | 日田定 | 教諭・国語 | 福田晃一郎 |
| 大分雄城台 | 教諭・英語 | 染矢 滋美 | 日田定 | 教諭・保健体育 | 清竹久美香 |
| 大分南 | 教諭・数学 | 久保田信輔 | 日田三隈 | 教諭・理科（化学） | 安東 孝弘 |
| 大分工業定 | 教諭・工業（電子） | 形岡 深志 | 日田支援 | 教諭・家庭 | 金谷 雅美 |
| 大分商業 | 教諭・国語 | 甲斐啓一郎 | 三重総合 | 学校司書 | 志賀 祐子 |
| 大分商業 | 教諭・数学 | 松本 幸夫 | 竹田 | 事務 | 阿南 裕子 |
| 大分商業 | 教諭・商業 | 首藤 勝徳 | 臼杵 | 教諭・国語 | 進來 道 |
| 大分西 | 教諭・国語 | 中村 浩一 | 臼杵 | 教諭・地歴（地理） | 石川 明德 |
| 大分西 | 教諭・数学 | 大木 裕治 | 海洋科学 | 実習教諭・水産 | 稲垣 勝弘 |
| 大分西 | 教諭・数学 | 利光 祐二 | 佐伯鶴城 | 教諭・英語 | 森 小百合 |
| 爽風館定 | 教諭・数学 | 瀧口 雅弘 | 佐伯鶴城 | 養護教諭 | 大石美紀子 |
| 爽風館通信 | 教諭・英語 | 岩本 豊明 | 佐伯豊南 | 教諭・国語 | 楨野 剛 |
| 由布 | 教諭・数学 | 北田 和弘 | 九重町学校支援センター | 事務 | 日隈 法尊 |
| 由布 | 教諭・英語 | 時枝 武敏 | | | |